



沖縄タイムス 2014年3月7日(金)掲載

3月1日 南城市尚巴志マスタープラン策定(含、円卓会議) 紹介記事

※みらいファンド沖縄は、企画運営、司会・ファシリテーター派遣で協力しました

3/7 times.

第3種郵便物認可

# 尚巴志魂に学べ

人材育成

エコミュージアム

情報発信

## 南城市の地域おこし

【南城】市は、市出身で三山統一を果たした尚巴志のスピリット(魂)を生かして地域活性化を図ろうと「尚巴志活用マスタープラン」を策定した。プランでは地域おこしを担う人材の育成や、エコミュージアムの創造、啓発・情報発信の各種事業で市の経済振興を図る考え。三山統一から600年の節目に当たる2029年には市民自ら「魂」を持つ人材を育てる計画だ。



尚巴志スピリットを生かした地域活性化へ意見交換する学識経験者や市民ら11日、南城市役所大里庁舎

### プラン策定

尚巴志は佐敷按司の子として生まれ、1429年に三山を統一した。第一尚氏王朝を興した市出身の英雄の志を受け継ぎ、使命感や海外貿易を進めた広い視野、親を敬う心など尚巴志のスピリットを市の振興につなげようと2012年度に事業を開始。市民向けのワークショップ、学識経験者らの検討委員会などから意見を募っていた。

マスタープランでは、尚巴

志スピリット普及のため、小学校での紙芝居上演や歴史研究者らの講演、海外体験を含めた視野を広げる人材育成事業を検討する。

また佐敷、島添大里、知念、糸数の4城跡などで、地域の人や史跡や集落を案内するエコミュージアムを推進する。観光客らが訪ねることで経済振興を促す。

1日には、市民の意見を募る会合を開き、事業の成功に必要な市民の参加をどう促していくかを議論。尚巴志を描くイラストコンテストや市内のカフェを巻き込む案が提起された。

古謝景春市長は「尚巴志は戦国の世に生まれ、琉球王国を興した人物。地域を繁栄させた歴史を学び、みんなが一つとなったまちづくりをした」と決意した。プランを実施する事業費として14年度予算案で、1千万円を計上している。